

総 括 質 疑 並 び に 一 般 質 問 （ 個 人 質 問 ）

【質問日】 令和 7 年 9 月 5 日（金）

質問 順位	質 問 者	質 問 事 項
5	成 川 幸 太 郎	1 農業政策について (1) 本市における令和 7 年度の米の作付状況はどのようになっているか。 ・ 主食用米、加工用米、飼料用米、WC S 用稲ごとに直近 3 年間の推移を示せ。 (2) 今後の米の生産体制をどのように考えるか。 (3) 本市の農業再生協議会水田収益力強化ビジョンの取組状況はどのようになっているか。 (4) その中での県が示す高収益作物と本市の重点振興作物に違いが見られるが、その原因は何があるのか。 (5) 耕作放棄地の現状と活用策についてどのように考えるか。 (6) 新たな農業の基本政策に本市としてはどのように対応するのか。 2 キャッシュレス決済事業における地域経済対策について (1) キャッシュレス決済事業における最終値について - ア 利用件数はどのようになっているか。 - イ その中での年代別利用実績はどのようになっているか。 - ウ 手数料の最終値はどのようになり、その内訳はどのようになっているか。 (2) 今後の経済対策事業についてはどのように考えるか。 3 サイクルツーリズムについて (1) サイクルツーリズムについての本市の捉え方はどのようになっているか。 (2) 国が示すサイクルツーリズム推進モデルルートの北薩ルートの起点・終点が川内駅となっているが、これを生かした観光政策は考えられないか。
6	富 吉 雄 二	1 本市のふるさと納税について (1) 本市の令和 6 年度ふるさと納税金額の確定値と令和 7 年度歳入予算を伺う。 (2) 県内各自治体のふるさと納税額の新聞報道を受けての分析・感想を伺う。 (3) 令和 6 年度と令和 7 年度で納税拡大のために何が付加されたのか伺う。 (4) 本市から他自治体にふるさと納税された方の寄附金税額控除の延べ人数と金額を伺う。 (5) 本市組織に「ふるさと納税グループ」をつくる考えはないか市長に伺う。 (6) 現状の本市返礼品の中で一番売り出したい商品、取組、また、その進捗状況と今後の取組、そして運営方針を伺う。 2 未就学児から子ども達まで屋内で自由に遊べるスペースについて (1) 子ども達が遊べるスペース設置について現在の進捗状況を伺う。

		(2) 川内駅コンベンションセンター内にスペースの機能を充実する考えはないか伺う。
7	今 塩 屋 裕 一	1 出産・子育て支援の拡充について (1) 現在の支援事業の詳細は。また、利用者数の推移を伺う。 (2) 妊娠に係る支援の強化の推進及び出産後のケアの状況は (3) 公的資金の投入で支援の強化について ア 多子世帯への優遇について - 第2子以降の出産に対して段階的に増額するなど報奨金を検討できないか。 イ 新生活支援策の拡充について - 新居の購入費や家賃、引越し費用に対する拡充策を検討できないか。 (4) 柔軟な働き方を促進する企業への子育てと仕事の両立支援制度を検討できないか。 (5) 企業版ふるさと納税や子ども支援に特化した企業・団体からの寄附を模索してはどうか。 2 若年層の人口流出と雇用創出について (1) 人口動態について、流入人口と流出人口の推移を年代ごとに示せ。また、新たな雇用状況の推移を示せ。 (2) 魅力的な雇用機会の創出のために、若者が魅力を感じる分野の企業を積極的に誘致するための優遇策を検討できないか。 (3) 本市の第一次・第二次産業のDX推進や高付加価値化の推進状況は。また、新たな雇用創出のための優遇策を検討できないか。 (4) 創業・起業支援策の現状と今後の強化策について問う。 (5) 若者定着のために、本市でのキャリアアップにつながる専門的な教育プログラムや研修の提供を関連機関とも提携・協力して促進していくべきと考えるが見解を問う。
8	松 澤 力	1 本市の災害への備え強化に向けて (1) 大災害発生時の緊急的なトイレ確保について ア 先日の地元紙の報道によると、全国の市区町村に実施した避難所準備状況に関するアンケートの中で、全体の49%の自治体が災害発生時初期段階でのトイレ数の確保が、「政府が指針で示す基準を満たしていない」との回答であったが、本市のアンケート回答の内容について伺う。 イ 高齢者・障がい者・女性・子ども等、災害時に様々な配慮が必要な方々への対応を含めて、本市の避難所トイレの更なる備えを、今後どのように進めていく方針か伺う。 ウ 千葉県市原市では、災害時に断水で水洗トイレが使えなくなることを想定して携帯トイレの活用も市の災害計画に盛り込んでいるが、本市における断水を想定したトイレ対策について伺う。 (2) ラジオ・テレビによる災害情報収集環境について ア 大災害発生時には、携帯電話が使用できなくなり、地元のラジオやテレビによって災害の状況や危険性を確認される市民も多いかと想定されるが、ラジオの電波状況の把握やテレビの共同アンテナを活用している地域・費用負担の現状について伺う。 イ 今後の災害に備える体制強化として、ラジオ電波が届くエリアを広

		げる取組や特に高齢化率が高い地域のテレビの共同アンテナの維持を支援する取組を検討できないか伺う。 (3) 川内保健センター・すこやかふれあいプラザについては、災害時にも様々な市民の支援を行う上で重要な施設となるが、近年ではエアコン設備の不具合が課題として市民の声をいただいている。今後、猛暑の中での災害も想定されるため、設備の早期修繕も必要と考えるが対応を伺う。 2 更に子育てしやすく賑わいある薩摩川内市へ (1) 既存施設を活用した熱中症対策も含めた子育て支援施設充実と木育強化について ア 毎年の猛暑も考慮して、鹿児島市の「りぼんかん」や「メルヘン館」等の子育て支援施設を、既存の市有施設の一部スペースを活用して設置することを検討できないか伺う。 イ 群馬県では「ウッドスタート宣言」を行い、県産木材の利用促進や人材育成、木の温もりや良さを子どもたちに感じてもらう「木育」に取り組んでいる。本市も木材利活用を更に進めるとともに、次世代の子どもたちにも更に木材に親しんでもらい遊びながら創造性を高めるために、子育て関係施設に積み木等の木製おもちゃを増やしていくことを検討できないか伺う。 (2) 薩摩川内市の更なる賑わいの創造に向けて ア 様々な整備が進められている向田公園を、天候に左右されず更に市民の賑わいの場として活用するため、鹿児島市の「かんまちあ」等の屋根付きイベント広場として整備を進めていくことを検討できないか伺う。 イ 向田公園やセンノオト周辺では様々なイベントが開催され、今後も多くの市民の往来が期待される。そこで本市の行事や最新情報などを幅広くお知らせする多言語対応の案内板を設置することを検討できないか伺う。あわせて、案内板の機能として、民間企業の広告、フリーWi-Fiスポットの機能、非常時の携帯電話充電機能、気象情報・緊急地震速報等の表示も検討できないか伺う。 ウ 夏休み期間中には、各地で珍しい昆虫のイベント等で、たくさんの家族連れが集まり大変賑わっていた。今後、本市でも更に動物や昆虫等とのふれあいイベントの開催を検討できないか伺う。 3 本市職員の強みを更に生かす行政に向けて (1) 本市職員の募集・育成について ア 4月の新規採用職員の募集状況・定着率の推移について伺う。 イ 採用を希望される方を増やしていくため、現状の取組や今後どのような施策を行っていくか伺う。 ウ 若い世代の職員の定着率向上につながり、更にやりがいを持って本市での仕事に取り組めるような若手職員育成の方法について伺う。 エ 若い世代の職員が、将来、課長・部長等の幹部職員を目指していくに当たって、幹部職員の仕事のやりがいを、今後どのように改善していく方針か伺う。 (2) 今後の本市の更なる発展のためには、職員の専門性・強みを更に生かして、現場の声もしっかりと把握しながら、市政に反映していくことが重要だと考えているが、市長の考えを伺う。
--	--	---